



「JANBIN子ども未来食堂」を開設

JA秋田やまもとが運営するコンビニ「JANBIN ANN・AN」は、新たな取り組みとして「JANBIN子ども未来食堂」を開設しました。県内JAが子ども食堂を開設するのは、初めてとなります。地場産の食材や安全・安心な手作りの味の大切さを広く伝える「地産地消と食育の拠点」として開店した同店が、これからの世代



第1回(3月25日)おにぎり作りに挑戦

を担っていく子どもたちに米の味やその魅力を知ってもらい、将来まで受け継いでもらいたいという思いから立ち上げに至りました。

子ども食堂と聞くと、貧困の子どもたちの食事に対応するための活動ととらわれがちになるため、名前も「子ども未来食堂」としました。

使用される食材は、JANBIN二協力員として運営支援に携わるメンバーで構成された「親心の農家会」を発足。会メンバーから無料で提供されます。

JANBIN子ども未来食堂は毎月実施され、この活動を新たな「地産地消と食育の拠点」のひとつとして継続していくこととしています。



第2回(4月15日)米粉を使ったお好み焼きを作りました